



がっ こう  
学校だより



# 3月号

令和8年2月20日  
校長 石神 和弘

校庭には様々な木々が植えられています。なかよし広場（元のプール跡）には蠟梅（ろうばい）があり、黄色い花が咲き始めました。とても上品ないい香りがします。ジャングルジムの近くには白い花の梅もあり、どちらも2分咲きといったところです。目にも春が感じられるようになってきました。

**3月の予定** ※保健関係の予定は「保健だより」をご覧ください。

- 3月 2日（月） お別れ集会1, 2限 体育館式場準備（施設開放中止～3/16まで）
- 6日（金） 6年生卒業遠足（ニフレル・万博公園）
- 9日（月） 楠見中学校卒業式
- 10日（火） なわとび集会
- 11日（水） 卒業式予行練習
- 16日（月） 卒業式準備 1～4, 6年生は13:00下校
- 17日（火） お別れ式8:35 多目的ホール 1～3年生は8:45下校  
卒業証書授与式9:30 4～6年生は12:00頃下校



**20日（金） 春分の日**

- 24日（火） 終業式
- 31日（火） 離任式8:20

※ 3月のスクールカウンセラー来校日は3, 10日の2回です。お子様の発達のことやその他お悩み事などお気軽にご相談ください。なお、利用には予約が必要です。担任か学校（455-1714 担当：教頭）までお電話ください。時間は11:00-16:00となっています。場所は本館北校舎2Fカウンセリングルームです。

<今後の主な予定> ※あくまで予定で、変更することもあり得ます。

- 4月 8日（水） 新学期始業式
- 9日（木） 入学式
- 23日（木） 全国学力・学習状況調査（6年生）
- 24日（金） 授業参観・育友会総会
- 5月25～29日 （未定）家庭訪問…5年生の社会見学や加太合宿の日程によって変更することがあります。
- 11月 7日（土） 運動会（午前中開催）

## お花のプレゼント

楠見地区交通安全協議会様から、連絡所を通じてたくさんのお花の苗をいただきました。みんなの目につきやすい場所ということで、体育館近くにある昔の正門の左右に植えさせていただきました。この門は元々生け垣になっていて、イブ



キの切り株がたくさん残っていたため、朝や放課後に1年生の子たちと少しずつ根の周りの土を落とし、すべて抜くことができ、立派な花壇に変えることができました。卒業式まであと一か月、子供達の門出に花を添えてほしいと思います。

## 不易流行

楠見地区公民館の方々が編纂された『楠見郷土誌（平成12年）』という立派な本が校長室の棚に並んでいます。その中に「楠見の教育」という項目があり、大正時代のところに「楠見尋常高等小学校児童手帳」の記述があります。思い返せば、私が中学生の頃にも生徒手帳があり、生徒心得というか校則が書かれていたと記憶しています。大正時代の小学生は毎日持参していたようで、児童の心得の他に体力や成績の一覧表も含まれていて、今でいう、通知表の役割もしていたようです。

この児童の心得（学校のルール）は、「イ朝起の心得」「ロ登校前の心得」「ハ途中の心得」「ニ学校における心得」「ホ家庭にある時の心得」の大きく5つに分けられています。その中に通学団のことが次のように書かれていました。「朝通学団長ト共ニ小声デ読ミマス」とも書かれてあり、毎朝、登校する際にみんな読んでいたのかもしれませんが。



- |                                 |
|---------------------------------|
| ハ 途中ノ心得                         |
| 一 団長ノ読ンデクダサル児童心得ヲヨク聴イテ違ワヌヨウニシヤウ |
| 二 団長ノ命ヲヨク守リ、規律正シク登校シマス          |
| 三 通行人ニ迷惑ヲカケナイデ左側ヲ通リマス 以下略       |

今で言う登校班が、既に大正時代にもあったということに驚きました。途中で中断した時期がないとしたら、楠見小学校の登校班の歴史は実に100年を超えることになります。これは全国にも自慢できることです。

また、この手帳には「父兄ノ方ニ御読ミ戴キタイ事柄」として、保護者の方に向けたメッセージも記載されています。一部原文のまま抜粋します。大正生まれの子供達と明治生まれの保護者の方に向けた文章ですが、読んでみると、今も昔も子育てに関しての大切な部分は、いつの時代も変わらないのだなと感じます。

一体児童ヲ教育シテ日々ニ進歩シテイル将来ノ日本人トシテ満足ニ人間トスルコトハ、余程ムツカシイ事デアリマス、ソレ故我々ハ日夜其ノ教育ノ仕方ヲ考ヘテイロイロト手ヲ尽シ、何トカシテヨキ方法ヲ用イテ児童ノ一生涯ノ幸福ヲ計ロウト思フケレドモ、児童ガ教育ヲ受ケルノハ唯学校ニアル時バカリデハナイ、児童等ガ平常見キキスル事柄ハ、皆児童ノ心ヲ動カシ、或ハヨイ方ニ或ハ悪イ方ニ導キツツアルノデスカラ、教育ノ仕事ヲ全ク学校ニバカリ任セテオイテ捨テ置クトキハ、其ノ児童ヲ正シイ方ニ進マセルコトガ出来ナイバカリデハク、時トシテハ我々ガ日々苦心シテ骨折ツテ居ル事モ水ノ泡トキエルコトデスカラ、ドウシテモ学校ト家庭トカヲ協セネバ児童ノ真ノ教育ガ出来マセン。

（中略）

学校ノヤリ方ノ腑ニ落ちヌコトガアツタラ、スグ学校ヘ言ツテ戴イテ、学校親ト家庭親ト心ヲ合ワセテ、可愛イ子供ノ教ヲシヤウデハアリマセンカ。児童ノ前デ学校ノ小言ヲナラベルノハ、我ガ子ニ言ウ事ヲキカサヌ様ニ仕込ム第一ノ方法デス。（以下略）

去る1月13日に、楠見小学校は創立133年を迎えました。当日は給食時間中に放送室から子供達に学校誕生の頃の話をしました。お昼休みに子供達から、「校舎って800円で建てたんやろ。校長先生の給料って12円なん？」と、そこが一番印象に残っていたようで、何にしても話をよく聞いてくれているなあと感じました。